



学校名	那覇市立 城南 小学校	指導者	松田 泰知
対象学年	4 学年	教科等	算数
单元名	億を超える数（特に本時である必要はない）		
使用 ICT 機器	<input type="checkbox"/> 電子黒板 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒用タブレット端末 <input checked="" type="checkbox"/> ソフト・アプリ等 （ラインズ e-ライブラリ）	<input type="checkbox"/> デジタル教科書 <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	
本時のめあて	十億をこえる数について、よみ方や数の表し方について考えよう。		
ICT 機器の活用場面	・ 習熟問題を早く終えた児童に対する追加の練習問題として e ライブラリを活用する。		
指導の流れ	<p>【事前】</p> <p>E ライブラリの学校コード・ID・パスワードを発行し、配布しておく。</p> <p>【本時】（特に本時である必要はなく、どの時間でも活用可と考える）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書やノートを使い、普段通り授業を通す。</li> <li>・学習のまとめを終えた後、教科書の練習問題を解く。</li> <li>・練習問題を正解した児童は、練習問題に困難さを感じている児童（1人以上）に解き方や考え方を教える。（教える相手がいないければ、次へ）</li> <li>・ノートに学習のふりかえりをする。</li> <li>・タブレット端末から e ライブラリにアクセスし、本時の授業に関する練習問題を解く。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ e ライブラリのアクセスの仕方や学習の仕方を事前に指導しておく。</li> <li>・ e ライブラリに早く進みたいがため、練習問題を雑に解いたり、ふりかえりを適当に書く児童が出ないよう声かけや工夫をする。</li> </ul>		